



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 6月号  
平成28年5月30日  
校長 藤井 恒雄

## 生活と学び

真夏を思わせる日が続く、登校する子ども達も白のポロシャツ姿が日に日に多くなり、季節の変化を感じさせます。また、学校周辺の木々も、雨が降るたびに緑の濃さを増してきています。

早いもので1学期も半分が過ぎ、折り返し地点を迎えました。229名の英田っ子は、この2ヶ月間様々な活動を通して、一段とたくましく成長してきています。6年生はふれあいタイムや委員会活動などのリーダーとして学校全体のことを考え行動しています。5年生は郡市・町の音楽会、4年生は郡市器械運動交歓会に出場するために、毎日のように練習に取り組んできました。3年生は学校周辺の探検、2年生はミニトマトやキュウリなどの野菜作り、1年生は学校探検と、それぞれの学習に取り組んできました。毎日の授業では、話を聴いたり、自分の考えを話したりする等、学習のルールも少しずつ身に付いてきています。また、休み時間は体育館や外で多くの子が遊び、子どもたちの元気な声が響き渡っています。



今月の学校集会では、前回の集会での2つの話を再度しました。「あ・い・さ・つ」と「A・B・C・D」です。今後も、継続して取り組んで行きたいと思います。

### ①「あ：あかるく い：いつも さ：さきに つ：つづける」

進んで元気よく挨拶をする子が増えてきました。「あいさつ」は、現代っ子に足りないと言われているコミュニケーション能力を高めます。朝ごはんは体の栄養、朝のあいさつは心の栄養です。どちらも1日の活力を与えてくれます。4月から生活目標に掲げ、毎朝あいさつ運動に取り組んでいます。その成果もあり、児童玄関は毎朝『元気なあいさつシャワー』が降り注いでいます。このあと、様々なあいさつ運動も計画されています。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさまでした」「おやすみなさい」など、場に応じて、ごく自然に、心のこもった「挨拶」ができる英田っ子であってほしいと思います。そして、校内だけでなく、見守りボランティアの方々や地域、保護者の皆様とのあいさつの輪がもっともっと広がり、どの子も明るく前向きな心で生活できるよう願っています。

### ②「A：当たり前のことを B：バカにしないで C：ちゃんとやれる人が D：できる人」

玄関の靴は、下足箱にとってもよく揃っています。英田小学校の下足箱は合格だと思えます。特に、6年生はととてもきれいに揃っています。靴だけでなく、かさもとてもきれいに方向を揃えて入れられています。横を向いたり倒れたりしているものはありません。ときどき忘れてしまう人もいますが、自分のものではないけれど直してくれています。それから先生方も時々見て直してくれています。みんなで協力してやると、今以上にできるようになるのです。

しかし、まだできていないこともあります。それはどこでしょうか。

- ・話は人の目を見て聴く。 ・相手の気持ちを考える。
- ・授業中の移動は話をしない。 ・走ると危ないので、廊下は歩く。…等。

単純なことかもしれませんが、たとえ小さなことでも学校でも家庭でも繰り返し続けていくことが、やがて大きな力になります。子どもの学力もぐんと伸び、生きる力に繋がっていくのではないのでしょうか。今日は学校公開でした。6月は授業参観も予定しています。是非学校に足を運んで頂き、パワーアップしている英田っ子の様子をご覧ください。

